

# 令和元年度相模原市協働事業提案制度 公開事業報告会

## もくじ

- P 1  
事業評価及び公開事業報告会の方法
- P 2  
公開事業報告会スケジュール
- P 3  
自己評価指標等の一覧
- P 6  
各事業のふりかえりシート

日時 令和元年6月30日(日)午前9時30分~  
会場 ウェルネスさがみはら 視聴覚室

# 事業評価及び公開事業報告会の方法

## 1 事業報告会の対象となる事業

協働事業提案制度を活用しての事業実施は最大3年度まで可能で、平成30年度は11事業が行われました。このうち、今回の事業報告会で成果等を発表するのは次に該当する事業です。

平成30年度をもって、同制度を活用しての実施期間を終了したもの(3事業)  
令和元年度が最終年度となるもの(5事業)

令和元年度が1・2年目で次年度継続を希望する事業の進捗等については、11月頃開催予定の中間ヒアリングで報告します。

## 2 報告書(ふりかえりシート)の作成

事業報告会に先立って、協働事業の過程や成果を自己評価する報告書(ふりかえりシート)を、実施団体及び事業担当課双方の合意により作成していただきました。

## 3 評価の数値化等

ふりかえりシートには、事業の概要のほか、事業の達成度などを記号化・数値化して示してあります。

### 自己評価指標

「パートナーシップの原則」、「取り組みにあたっての関係性のふりかえり」、「事業の妥当性と効果」、「協働したことの効果」の4区分について、A(80%以上できた)、B(60%以上できた)、C(十分にできなかった)の3段階で評価を行いました。

### 自己評価点

A～Cで評価した4区分をさらに19に細分化し、a・b・c・dの4段階でチェックのうえ、a=4点、b=3点、c=2点、d=1点と置き換え、76点満点で点数化しました。

## 4 報告会の方法

1事業あたりの、事業結果報告は10分間です。それを受けて、審査会による質疑応答(4分程度)及び一般傍聴者による質疑応答(4分程度)を行います。

# 令和元年度 公開事業報告会スケジュール

日時 令和元年6月30日（日）  
午前9時30分～午後2時00分  
会場 ウェルネスさがみはら7階 視聴覚室

## 進め方

団体及び事業担当課は、協議の上「ふりかえりシート」を事前に作成してください。  
当日は、原則としてパワーポイントを使用し、成果報告を行ってください。（10分）  
報告を受け、審査員及び傍聴者が質問や助言を行います。（4分+4分）

時間	区分	内容	事業概要	団体名	事業担当課	最終年度
9:30	開会（挨拶、審査会委員紹介、進行説明）					
9:45	行政	共助による旧耐震基準の住宅の所有者等に対する耐震化支援事業	地域で耐震性不足の住宅に居住している市民宅に訪問し耐震に関する普及啓発を行う。 耐震相談後の具体的な対応をするための専門家への橋渡しを行う。 自治会等の防災担当者に、共助による地域ぐるみの耐震促進を啓発する。	特定非営利活動法人 建築文化研究会	建築・住まい政策課	昨年度
10:05	市民	津久井葎尾根の里山を活用した若年無業者等と都市住民との交流事業	農業事業の実施環境を整備し農業生産を拡充する。 都市からの農業体験者の誘致を促進する。 地域の農家などの住民との協働、ネットワークを拡充する。	特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク	津久井地域経済課	昨年度
10:25	市民	津久井産材製キエーロ（木製の生ごみ処理器）の開発・普及モデル事業	津久井産材により土壌分解式生ごみ処理器（キエーロ）を制作し、モニター調査を実施して普及を図り、森林の利活用を推進する。	津久井商工会	津久井地域経済課	今年度
10:45	休憩（15分）					
11:00	市民	森林活用モデル検討事業	「さがみはら森林ビジョン」掲載の「市民の森」の実現に向けて、市民の森の周知・利活用に関する条件の整備を進め、又、市民の参画を目指す。	特定非営利活動法人 自遊クラブ	津久井地域経済課	今年度
11:20	行政	落書き防止活動事業	現在放置されている落書きを消去して、きれいにすることで落書き防止を抑制する。 消去作業の大変さを体験・見学することで、安易な発想で行われる落書き行為を防止する。 落書き行為が発生しやすい場所などに、あらかじめ絵画等を描き、落書きを防止する。	相模原塗装協同組合 特定非営利活動法人 きこり	交通・地域安全課	昨年度
11:40	市民	自動車ドライバーを含む自転車利用者向け交通安全講習会事業	学校や自治会等で、自動車及び自転車に関する交通ルールの背景を理解するための安全講習会を行い、安全運転への意識を高め、事故防止につなげる。	株式会社セルクル	交通・地域安全課	今年度
12:00	昼食（60分）					
13:00	市民	WEBを活用した野菜販売促進プロジェクト事業	農家と住民の協働及びネットワークの拡大並びに地域経済の活性化を目指す。 WEBサイトを制作し、朝市や農家に関する広報活動を行う。 耕作放棄地の活用等により、新規就農者の支援を行う。	ピオ市/野菜市事務局	農政課 藤野まちづくりセンター	今年度
13:20	市民	「木もれびの森」案内看板及びマップ製作事業	初めて「木もれびの森」を訪れる方が安心・安全に散策できるよう、案内看板や順路等案内板を設置し、紙ベースの「木もれびの森マップ」の作成、ホームページ上への掲載により容易に散策できる環境を整える。	特定非営利活動法人 相模原こもれび	水みどり環境課	今年度
13:40	閉会（挨拶）					
14:00	終了					

協働事業提案制度事業のふりかえりシート 自己評価指標及び自己評価点 一覧

9:45 昨年度終了	事業の名称	共助による旧耐震基準の住宅の所有者等に対する耐震化支援事業																			
	事業実施団体	特定非営利活動法人 建築文化研究会																			
	事業担当課	建築・住まい政策課																			
自己評価指標(A : 80%以上できた B : 60%以上できた C : 十分にできなかった)																					
自己評価点 ( a = 4、 b = 3、 c = 2、 d = 1 ) 満点76点																					
評価項目	パートナーシップの原則					互いの関係性				事業の妥当性・成果					協働の必要性					合計	
自己評価指標	B					A				A					A						
No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
自己評価点	4	4	4	3	3	4	4	3	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	72

10:05 昨年度終了	事業の名称	津久井葎尾根の里山を活用した若年無業者等と都市住民との交流事業																		
	事業実施団体	特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク																		
	事業担当課	津久井地域経済課																		
自己評価指標(A : 80%以上できた B : 60%以上できた C : 十分にできなかった)																				
自己評価点 ( a = 4、 b = 3、 c = 2、 d = 1 ) 満点76点																				
評価項目	パートナーシップの原則					互いの関係性				事業の妥当性・成果					協働の必要性					合計
自己評価指標	A					A				A					A					
No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
自己評価点	4	3	4	4	3	4	3	4	4	4	3	4	4	4	4	4	3	4	3	70

10:25 今年度終了	事業の名称	津久井産材製キエー口（木製の生ごみ処理器）の開発・普及モデル事業																		
	事業実施団体	津久井商工会																		
	事業担当課	津久井地域経済課																		
自己評価指標(A : 80%以上できた B : 60%以上できた C : 十分にできなかった)																				
自己評価点 ( a = 4、 b = 3、 c = 2、 d = 1 ) 満点76点																				
評価項目	パートナーシップの原則					互いの関係性				事業の妥当性・成果					協働の必要性					合計
自己評価指標	A					A				B					A					
No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
自己評価点	4	4	4	4	3	4	4	3	4	4	3	3	3	3	4	4	4	3	3	68

協働事業提案制度事業のふりかえりシート 自己評価指標及び自己評価点 一覧

11:00 今年度終了	事業の名称	森林活用モデル検討事業																		
	事業実施団体	特定非営利活動法人 自遊クラブ																		
	事業担当課	津久井地域経済課																		
自己評価指標(A : 80%以上できた B : 60%以上できた C : 十分にできなかった)																				
自己評価点 ( a = 4、 b = 3、 c = 2、 d = 1 ) 満点76点																				
評価項目	パートナーシップの原則					互いの関係性				事業の妥当性・成果					協働の必要性					合計
自己評価指標	A					A				A					A					
No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
自己評価点	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	76

11:20 昨年度終了	事業の名称	落書き防止活動事業																		
	事業実施団体	相模原塗装協同組合 特定非営利活動法人 きこり																		
	事業担当課	交通・地域安全課																		
自己評価指標(A : 80%以上できた B : 60%以上できた C : 十分にできなかった)																				
自己評価点 ( a = 4、 b = 3、 c = 2、 d = 1 ) 満点76点																				
評価項目	パートナーシップの原則					互いの関係性				事業の妥当性・成果					協働の必要性					合計
自己評価指標	A					A				A					A					
No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
自己評価点	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	76

11:40 今年度終了	事業の名称	自動車ドライバーを含む自転車利用者向け交通安全講習会事業																		
	事業実施団体	株式会社セルクル																		
	事業担当課	交通・地域安全課																		
自己評価指標(A : 80%以上できた B : 60%以上できた C : 十分にできなかった)																				
自己評価点 ( a = 4、 b = 3、 c = 2、 d = 1 ) 満点76点																				
評価項目	パートナーシップの原則					互いの関係性				事業の妥当性・成果					協働の必要性					合計
自己評価指標	A					A				A					A					
No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
自己評価点	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	76

協働事業提案制度事業のふりかえりシート 自己評価指標及び自己評価点 一覧

13:00 今年度終了	事業の名称	WEBを活用した野菜販売促進プロジェクト事業																		
	事業実施団体	ビオ市/野菜市事務局																		
	事業担当課	農政課 藤野まちづくりセンター																		
自己評価指標(A : 80%以上できた B : 60%以上できた C : 十分にできなかった) 自己評価点 ( a = 4、 b = 3、 c = 2、 d = 1 ) 満点76点																				
評価項目	パートナーシップの原則					互いの関係性				事業の妥当性・成果					協働の必要性					合計
自己評価指標	A					A				A					A					
No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
自己評価点	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	

13:20 今年度終了	事業の名称	「木もれびの森」案内看板及びマップ製作事業																		
	事業実施団体	特定非営利活動法人 相模原こもれび																		
	事業担当課	水みどり環境課																		
自己評価指標(A : 80%以上できた B : 60%以上できた C : 十分にできなかった) 自己評価点 ( a = 4、 b = 3、 c = 2、 d = 1 ) 満点76点																				
評価項目	パートナーシップの原則					互いの関係性				事業の妥当性・成果					協働の必要性					合計
自己評価指標	A					A				A					A					
No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
自己評価点	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	

## 協働事業提案制度事業のふりかえりシート

事業の名称	共助による旧耐震基準の住宅の所有者等に対する耐震化支援事業			
団体の名称	特定非営利活動法人 建築文化研究会			
事業担当課	建築・住まい政策課			
事業の概要	<p>地域で耐震性不足の住宅に居住している市民宅に訪問し耐震に関する普及啓発を行う。</p> <p>耐震相談後の具体的な対応をするための専門家への橋渡しを行う。</p> <p>自治会等の防災担当者に、共助による地域ぐるみの耐震促進を啓発する。</p>			
具体的な取組みの状況	<p>(1) 耐震化支援制度のリーフレット配布 耐震への意識向上、補助制度の普及促進の一環として計画的にリーフレットを配布 仕様：紙媒体 A4三つ折り・カラー 配布実績：28年度 7,906通 29年度 12,678通 30年度 8,780通 配布方法：事業団体にてポストイング</p> <p>(2) 個別訪問活動による耐震相談 市民からの依頼による個別訪問の実施により耐震に関する正しい知識を提供 相談方法：建物図面による確認、居住者へのヒアリング 訪問実績：28年度 34件 29年度 39件 30年度 46件</p> <p>(3) イベントでの啓発活動、相談会の実施など 住宅倒壊模型の実演、耐震についての講演、補助制度の説明、リーフレット配布など 28年度 防災訓練や文化祭など計7回開催 29年度 セミナーや講演会など計4回開催 30年度 防災訓練や防災イベントなど4回開催</p>			
役割分担	実施団体の主な役割		イベントの企画・運営	
	リーフレットの作成・配布 事業スケジュールの進行管理 個別訪問による耐震相談 事業経費の負担			
役割分担	市の主な役割		事業経費の負担	
	登録証の発行 自治会への情報提供 事業スケジュールの進行管理 個別訪問に関する受付、相談		イベント開催に伴う関連部署との調整	
事業効果	<p>市民ニーズに対応できた点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別訪問活動では、個々の状況に応じた情報を提供することができた。</li> <li>・外出が困難な高齢者や、休日しか相談できない市民に対応できた。</li> <li>・各種非木造住宅や、補助金対象外の新耐震木造住宅の相談にも対応できた。</li> <li>・市に登録した相談員が対応することで安心感を持っていただくことができた。</li> <li>・地域の防災訓練などへの参加により、耐震に関する意識を高めることができた。</li> </ul> <p>行政の効率化につながった点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別のリーフレット配布により、補助制度の広く、細やかな周知ができた。</li> <li>・個別訪問により、正確な情報を個別に提供することができた。</li> <li>・イベント等への参加により、多くの方に関心を持ってもらうことができた。</li> <li>・通学路の危険なブロック塀等の情報を提供することができた。</li> </ul>			
事業終了後の方向性等	<p>昨年度で制度適用期間を終えた事業については、「現在の状況」 今年度が制度適用期間最終年度の事業については、「来年度以降の方向性」をご記入ください。</p> <p>(事業担当課) 周知の面で補助制度の案内の配架を増やすことやポスターの掲示、対応の面では相談会の運営方法などを検討していきたいと考えています。</p> <p>(実施団体) 平成28年に発生した熊本地震では、新耐震の建物でも平成12年頃までに建築した住宅で倒壊等の被害が顕著であり、新耐震でも耐震性の低い建物も多いと言えます。今後はこれまでの経験を活かし、新耐震の建物も含めた普及啓発を行い、耐震化に向けた効果的な改善方法の研究をしていきたいと考えています。</p>			
3年間の総事業費と年度ごと内訳	4,293,534 円	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		1,208,946円	1,900,588円	1,184,000円
上記のうち市負担金	3,842,926 円	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		1,070,456円	1,709,470円	1,063,000円



事業の名称	共助による旧耐震基準の住宅の所有者等に対する耐震化支援事業
-------	-------------------------------

次のA～Dの19項目及びE～Iの5項目について、ご記入ください。

<b>A：協働の基本原則・・・</b> 協働の基本原則に基づいて行動することができましたか？ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
1	相互理解の原則：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
2	目的共有の原則：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
3	役割合意と協力の原則：互いの役割分担について理解し、対等な協力関係で効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
4	自立の原則：互いに依存することなく、お互いの役割を自覚して事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
5	透明性の確保の原則：取組の状況をホームページやニュースレター等で広く市民に対して発信することができたと思いますか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。) 協働することにより、地域の自主的な活動への展開を意識することができた一方で、事業として継続させることの難しさを感じました。互いの役割をどのように発展させていくかが課題であり、その第一歩として、リーフレットのポスティングなどにより、事業内容を広く知ってもらうための効果的な発信はできたと思います。一方で取組の実績や効果についての検証、発信については不十分であったと思います。	自己評価			
		<b>B</b>			
<b>B：取組に当たっての関係性のふりかえり・・・</b> お互いの関係性についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
6	定期的あるいは必要に応じて、コミュニケーションを図る機会を設けることができたと思いますか。(報告・連絡・相談の機会)	a	b	c	d
7	事業の取組に当たって、前向きに意見を述べ合うことができたと思いますか。	a	b	c	d
8	負担感を持つことなく、協働することができたと思いますか。	a	b	c	d
9	協働して取り組んだことによって、信頼関係を深めることができたと思いますか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。) 事業の取組については、お互いに検討し、協議の上進めることができました。また、活動内容について、報告書だけでなく、直接聞き取りをすることで、お互いの役割、考え方を確認することができ、団体との関係性を深めることができたと思います。一方でお互いの負担という面では、効果的な役割分担ができておらず、細やかな体制づくり、運営方法の検討が必要であると感じました。	自己評価			
		<b>A</b>			
<b>C：事業のふりかえり・・・事業の妥当性や成果についてお尋ねします！</b> (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
10	取り組んだ事業は、市民ニーズや社会的要請にマッチしたものだだと思いますか。(事業の必要性)	a	b	c	d
11	設定した目標(目的)を達成することができたと思いますか。(目標達成度)	a	b	c	d
12	事業に要した経費は適切なものだだと思いますか。(費用対効果)	a	b	c	d
13	取り組んだ事業は、市民から一定の評価が得られたと思いますか。(市民満足度)	a	b	c	d
14	さらなる発展が期待できる事業だと思いますか。(将来性・発展性)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。) 相談をされる方は高齢の方が多く、外出することが困難であるとの声もあり、個別訪問による対応は市民ニーズにマッチしたものであったと思います。達成度については、ポスティングの数などにおいて、目標値にあと一步届きませんでした。臨機応変、かつ細やかに対応することができました。事業の効果としては、意識の向上が図られたという点で補助申請件数などへ速やかに反映されるものではなく、ある程度時間が経ってその効果が現れてくるものと考えています。	自己評価			
		<b>A</b>			



D : 協働のふりかえり・・・協働することの必要性や効果についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
15	課題解決に当たり、協働して取り組むことがふさわしい事業だったと思いますか。 (協働の必要性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
16	事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものだったと思いますか。 (役割分担の妥当性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働したことによって、相乗効果を上げることができたと思いますか。 (相乗効果)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	協働したことによって、地域社会にインパクトを与えることができたと思いますか。 (他団体や地域社会など外部への波及効果)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
19	他団体との新たな連携、新たな担い手(人材)の創出など、市民力や自治力の向上につなげることができたと思いますか。 (市民力・自治力の向上)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
	耐震に関する事業では、意識の向上のための普及啓発が重要であり、民間団体の細やかな対応と行政による提示の効果という点で協働した取組は非常に効果的であったと思います。事業として自治会や地域の自主的な団体とイベントを行うこともでき、地域への波及効果があったと思います。こうした活動は継続することが重要であり、行政、民間団体が継続して普及啓発を展開していくことで、地域の自主的な活動につながっていくものと考えています。	A			
E : 20 協働のポイント - 1 こんなところが良かった!と思ったことをお書きください。					
実施団体記載欄 市に登録した「耐震相談員」が対応することで市民に受け入れられ、成果のある活動ができた。 また、人生経験も多様な会員が一体となり、耐震化の促進という目標に向かって3年間活動できたことは素晴らしいことでした。			事業担当課記載欄 経験豊富なNPO法人とともに「安全安心のまちづくり」を目指し事業を行うことで、市職員だけでは難しかった専門的かつ地域の実情に応じたきめ細やかな市民サービスを提供することができました。		
F : 21 協働のポイント - 2 ここは改善したい!と思ったことをお書きください。					
実施団体記載欄 事務作業が煩雑で、簡素化の必要があると思います。			事業担当課記載欄 今回の事業では行政主導の事業であり、民間事業者の専門性を十分に発揮してもらうことができなかったと感じます。NPOの活動内容をよく理解し、その専門性を活かしたイベントなどの企画が必要であったと感じます。		
G : 22 協働のポイント - 3 これから協働にチャレンジしようとする人へのメッセージ!					
実施団体記載欄 協働事業により明確な目標と安定した活動資金が確保でき、事業目標達成のために安心して取り組むことができます。 また、組織の行動規範も明確になります。			事業担当課記載欄 経験豊富な団体との協議でより細かく、深い取組みが可能となります。		
H : 23 その他(それぞれに期待すること、自由意見)					
実施団体記載欄 協働事業を通じて、今後の展開、進むべき方向性が見えてきたと思います。反省点として、自治会の防災担当者や、耐震関係団体との意思疎通が不十分で、ニーズを的確に把握できていなかったと感じました。 協働事業を機会にNPOと連携した事業が増え、NPOの存在価値が高まることを期待しています。			事業担当課記載欄 情報の共有など体制づくりに苦労をしましたが、行政による事業への信頼と民間事業者によるきめ細やかな対応といった、お互いの得意分野を活かすことでスムーズに事業を実施できたと思います。3年間の普及啓発が浸透し、更なる意識の向上につながることを期待しています。		

写真添付欄



コメント記載欄

【リーフレットの配布】  
毎月、配布するエリアを決め、分担して各住戸へポスティングを行いました。  
配布数については、3年間で34,000枚を目標とし、実績として、約29,000部を配布しました。  
昨年は大阪北部地震への対応として、ブロック塀撤去に関する補助制度、注意喚起の案内の配布にも協力いただきました。

写真添付欄



コメント記載欄

【住宅倒壊模型の実演】  
木造住宅の模型を使い、揺れによる倒壊の仕組み、補強による効果を視覚化して説明をしました。  
小さいお子さんが多く来場するイベントでは、おもちゃで遊んでいるような感覚もあり、大人だけでなく、子供も興味を持って見てもらえることで、倒壊の仕組みを分かってもらうことができました。

写真添付欄



コメント記載欄

【耐震巡回講座】  
自治会などの要望を受け、出張して耐震に関する講義を行いました。  
地震により想定される被害、耐震の重要性などについてビデオや模型などを使用して説明をしました。参加された方は防災に関心のある方が多く、意識の向上を図ることができたと思います。

写真添付欄



コメント記載欄

【個別訪問による耐震相談】  
ご自宅に訪問し、図面やお住まいの方への聞き取りにより建物の状況確認をし、耐震に関するアドバイスや補助制度の説明を行いました。  
外出する必要がなく、また、自宅を実際に見て相談ができるということで、多くのお問合せをいただきました。また、この相談を機に補助制度を利用していただいた方も多く、積極的な普及啓発を行うことができたと思います。

## 協働事業提案制度事業のふりかえりシート

事業の名称	津久井葎尾根の里山を活用した若年無業者等と都市住民との交流事業				
団体の名称	特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク				
事業担当課	津久井地域経済課				
事業の概要	<p>農業事業の実施環境を整備し農業生産を拡充する。 都市からの農業体験者の誘致を促進する。 地域の農家などの住民との協働、ネットワークを拡充する。</p>				
具体的な取組みの状況	<p>1年目：28年度 【農産物の生産・加工・販売】 年間を通じて季節の野菜を30種類以上生産。法人のベカリーで使用する小麦の生産。ブルーベリーを中心にりんご、キウイ、ゆずなどを通年ジャムに加工。冬期は漬物の生産。宅配野菜「すみかクラブ」で17軒に年4回野菜を宅配。 【直売所運営/観光農業/イベント】 毎週土曜日（5月・12月）に地元で直売所を運営。ふらっとまるっと市出店。餅つき・味噌作りのイベント実施。 【教育研修】 週1回、若者向けの農業体験を実施。</p> <p>2年目：29年度 【農産物の生産・加工・販売】 年間を通じて季節の野菜を30種類以上生産。法人のベカリーで使用する小麦の生産。ブルーベリーを中心にりんご、キウイ、ゆずなどを通年ジャムに加工。冬期は漬物の生産。ベカリーのスタッフと地元の農産物を使った商品の開発（ふらっとまるっと市に出品）。宅配野菜「すみかクラブ」で15軒に年4回野菜を宅配。 【直売所運営/観光農業/イベント】 毎週土曜日（5月・12月）に地元で直売所を運営。ふらっとまるっと市出店。餅つき・味噌作りのイベント実施。年4回会員向けに食農イベントを実施「Cafe Nirone」。1年目よりレストランで提供するメニューの開発。「ニローネ弁当」や季節の野菜を使った料理作成。 【教育研修】 週1回、若者向けの農業体験を実施。また長期にわたり農業研修生を受入（6人）。</p> <p>3年目：30年度 【農産物の生産・加工・販売】 年間を通じて季節の野菜を30種類以上生産。法人のベカリーで使用する小麦の生産。ブルーベリーを中心にりんご、キウイ、ゆずなどを通年ジャムに加工。年1,000本程度生産。冬期は漬物の生産。宅配野菜「すみかクラブ」年4回野菜を宅配。 【直売所運営/観光農業/イベント】 毎週土曜日（5月・12月）に地元で直売所を運営の他、ベカリーでの定期直売所の開設。また、市内外でのイベントに出店。餅つき・味噌作りのイベント実施。年4回会員向けに食農イベントを実施「Cafe Nirone」。 【教育研修】 週2回、若者向けの農業体験を実施。述べ400名程度受け入れ。 長期にわたる農業研修の受入。述べ80人日受け入れ。</p>				
役割分担	<p>実施団体の主な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人に関わる若者の支援事業と連携しながら、農業体験生/農業研修生の受け入れ。</li> <li>・グリーンツーリズムのイベントに受け入れに若者が担い手となる実施体制の整備。</li> <li>・運営する地域直売所の拡大、自前の食品加工施設の整備、ワークショップや店舗の整備など。</li> </ul> <p>市の主な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と当団体の協議の場の調整。</li> <li>・イベント出店への協力。</li> <li>・自治体市民への広報。</li> </ul>				
事業効果	<p>市民ニーズに対応できた点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の担い手が不足している地域で、若者に対して農業体験/農業研修を行うことで援農や新規農業従事者の入り口となっている。</li> <li>・販売先がない地元農家の野菜を集荷し地元直売所で販売を行うことで地域経済を活性化。</li> <li>・グリーンツーリズムによる都市住民と地域農家の交流の場づくり。</li> </ul> <p>行政の効率化につながった点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引きこもり状態にある若者が農業体験/農業研修を行うことで地域援農や新規就農への入り口となった。</li> <li>・地産地消につながる地元直売所の運営により若者の仕事体験や地域農家の収益向上に繋がった。</li> <li>・収穫体験を中心とするグリーンツーリズムにより都市住民と地域との交流が生まれた。</li> </ul>				
事業終了後の方向性等	<p>昨年度で制度適用期間を終えた事業については、「現在の状況」今年度が制度適用期間最終年度の事業については、「来年度以降の方向性」をご記入ください。</p> <p>都市住民と地域農家との交流をさらに持続的なものにするため、若者が担い手となる体験農園の整備を進めている。これまでの協働事業により農業体験生/農業研修生が増えてきているので彼らが働ける環境を農場内外につくり、若者の就農支援と地域農業の活性化を目指し活動している。</p>				
3年間の総事業費と年度ごと内訳	18,886,000	円	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			4,902,000円	6,992,000円	6,992,000円
上記のうち市負担金	4,185,000	円	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			1,185,000円	1,500,000円	1,500,000円

事業の名称	津久井葦尾根の里山を活用した若年無業者等と都市住民との交流事業
-------	---------------------------------

次のA～Dの19項目及びE～Iの5項目について、ご記入ください。

<b>A：協働の基本原則・・・</b> 協働の基本原則に基づいて行動することができましたか？ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		は い			い え
1	相互理解の原則：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	目的共有の原則：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	役割合意と協力の原則：互いの役割分担について理解し、対等な協力関係で効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	自立の原則：互いに依存することなく、お互いの役割を自覚して事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	透明性の確保の原則：取組の状況をホームページやニュースレター等で広く市民に対して発信することができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
	当団体と行政との協働は安定的に進んでいる。地域農家との会議も行政の調整によらず進展するようになり、当団体が取り組む若者支援活動と地域の活性化も一つの事業として実施されている。	A			
<b>B：取組に当たっての関係性のふりかえり・・・</b> お互いの関係性についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		は い			い え
6	定期的あるいは必要に応じて、コミュニケーションを図る機会を設けることができたと思いますか。(報告・連絡・相談の機会)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	事業の取組に当たって、前向きに意見を述べ合うことができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	負担感を持つことなく、協働することができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	協働して取り組んだことによって、信頼関係を深めることができたと思いますか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
	長年の協働により目的の共有を前提として事業は取り組まれており、若者支援施策の動向や地域の状況など環境の変化に応じて都度意見交換がされている。	A			
<b>C：事業のふりかえり・・・事業の妥当性や成果についてお尋ねします！</b> (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))					い え
10	取り組んだ事業は、市民ニーズや社会的要請にマッチしたものだだと思いますか。(事業の必要性)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	設定した目標(目的)を達成することができたと思いますか。(目標達成度)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	事業に要した経費は適切なものだだと思いますか。(費用対効果)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	取り組んだ事業は、市民から一定の評価が得られたと思いますか。(市民満足度)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	さらなる発展が期待できる事業だと思いますか。(将来性・発展性)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
	地域農業の担い手不足の実情や、市の農業振興の指針をふまえても本事業で行われる若者の就農支援・都市農村交流による地域活性化は必要な事業と考えている。事業を継続することにより地域に出入りする若者や都市住民が増えており地域農家との交流も盛んになる一方で、当団体を入り口として若者や都市住民が自主的に地域農家と関わる状況に発展していけるよう進めていく。	A			



<b>D：協働のふりかえり・・・協働することの必要性や効果についてお尋ねします！</b> (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい いいえ								
15	課題解決に当たり、協働して取り組むことがふさわしい事業だったと思いますか。(協働の必要性)	<table border="1"> <tr><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>d</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
16	事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものだったと思いますか。(役割分担の妥当性)	<table border="1"> <tr><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>d</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
17	協働したことによって、相乗効果を上げることができたと思いますか。(相乗効果)	<table border="1"> <tr><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>d</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> </table>	a	b	c	d	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
18	協働したことによって、地域社会にインパクトを与えることができたと思いますか。(他団体や地域社会など外部への波及効果)	<table border="1"> <tr><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>d</td></tr> <tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
19	他団体との新たな連携、新たな担い手(人材)の創出など、市民力や自治力の向上につなげることができたと思いますか。(市民力・自治力の向上)	<table border="1"> <tr><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>d</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> </table>	a	b	c	d	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価								
	当団体が取り組む若者・地域の課題と行政が取り組む農業・地域の課題が一致しているので協働は必要であると考えます。しかし若者の研修や地域農家との連携は進んでいるものの、地域農業を将来に向けて引き継いでいくにはさらなる就農支援、地域農家との連携が必要となる。	A								
<b>E：20 協働のポイント - 1</b> こんなところが良かった!と思ったことをお書きください。										
実施団体記載欄 当団体の若者支援の活動が地域農業振興・地域活性化と一緒に発展していくには行政との連携が必要となる。協働による事業の公共性が若者・都市住民の参加の間口を広げ、地域住民との連携も円滑に行える。	事業担当課記載欄 当該地での15年以上に及ぶ活動により団体と地域のネットワークは、自立したものとなっている。									
<b>F：21 協働のポイント - 2</b> ここは改善したい!と思ったことをお書きください。										
実施団体記載欄 複合的な農業を展開していると見落としがちな、行政が提供する新規就農に関する情報や、グリーンツーリズム事業を推進するための情報など他分野に渡る情報を得たい。	事業担当課記載欄 安定的に地域農業の振興に結びつけるための農産物加工所の建設や既存施設に依存しない直売所の設置が望まれる。									
<b>G：22 協働のポイント - 3</b> これから協働にチャレンジしようとする人へのメッセージ!										
実施団体記載欄 自分たちが取り組む活動と行政の課題を把握した上で、何を協働するか考えればよりよい事業になると思います。	事業担当課記載欄 地域農業の振興事業として、耕作放棄地への単一作物の栽培など「見える化」する取組が重要。									
<b>H：23 その他(それぞれに期待すること、自由意見)</b>										
実施団体記載欄 若者も地域も自分たちだけで課題を解決するのではなく、市民活動団体や行政と協力して双方の課題を解決できるような豊かな社会を目指していければいいと思います。	事業担当課記載欄 長年の活動の成果を地域で顕在化できる取組(農産物加工所、直売所など)を期待する。									

I : 24 取組の様子(写真とコメント)

写真はできるだけ入れるようにしてください!

写真添付欄



コメント記載欄

小麦の種蒔まきの様子。農場では当団体が運営するベーカリーで使用する小麦を生産している。若者が種蒔まきから収穫まで関わる。

写真添付欄



コメント記載欄

六次産業化の取り組みによるジャムづくり。地域の果樹を使い、若者が生産に関わっている。

写真添付欄



コメント記載欄

販売体験としてイベント出店した時の様子。自分たちで生産から出荷、販売までを担うことで働くことについて考える機会となる。

写真添付欄



コメント記載欄

都市住民によるブルーベリー刈りの様子。地域農家と連携して実施している。若者も受け入れ側となり運営に参加している。

## 協働事業提案制度事業のふりかえりシート

事業の名称	津久井産材製キエーロ（木製の生ごみ処理器）の開発・普及モデル事業				
団体の名称	津久井商工会				
事業担当課	津久井地域経済課				
事業の概要	津久井産材により土壌分解式生ごみ処理器（キエーロ）を制作し、モニター調査を実施して普及を図り、森林の利活用を推進する。				
具体的な取組みの状況	<p>①キエーロの普及</p> <p>平成29年度：広報さがみはら4月号・津久井商工会広報誌「トレンド」4月・10月号へ掲載津久井商工会ホームページ 通年</p> <p>平成30年度：広報さがみはら4月号・津久井商工会広報誌「トレンド」4月・10月号へ掲載津久井商工会ホームページ 通年</p> <p>アンケート調査・モニタリングの実施等</p> <p>実施期間：平成29年度 6月～1月 平成30年度 7月～1月</p> <p>調査内容：計量調査（生ごみ投入量、分解日数等） アンケート（基本事項（性別・年齢・家族構成）、機能、意識変化、PR方法 地域材利用等）</p> <p>対象者：市内在住 30名の個人 価格：3,000円（税込）黒土、容器、スコップ、簡易はかりをセット（資源循環推進課の助成金を活用）</p> <p>調査分析 津久井産材の利用拡大やごみ減量への効果・課題について分析を行い、今後の課題解決策を検証するとともに事業の効果についての検討を行った。</p>				
役割分担	<p>実施団体の主な役割</p> <p>モニタリング希望者の管理・運営（応募、受付、設置） モニタリング・アンケート内容の検討、実施、分析 ニュースレターの作成 関連団体との調整 事業経費の負担</p> <hr/> <p>市の主な役割</p> <p>公共機関との調整 ○ モニタリング・アンケートに対する助言 市広報紙への記事掲載 事業経費の負担</p>				
事業効果	<p>市民ニーズに対応できた点</p> <p>平成29年度に実施したモニタリングやアンケート調査を基に、キエーロの仕様について改良を行った。また、モニタリング実施者は、累計で60名となり環境や津久井産材に対する意識の醸成を図ることができ、森林の保全・再生をめざす「さがみはら森林ビジョン」の実現化に寄与することができた。</p> <hr/> <p>行政の効率化につながった点</p> <p>生ごみ処理器に津久井産材という身近な資源を用いることで、市民の環境保全やごみの減量化に対する意識を喚起させ、ごみ排出量の削減とゴミ処理コストの低減に繋がるとともに、生ごみ処理器の利用が拡大することで、津久井産材の利用拡大及び普及・啓発につながった。</p>				
事業終了後の方向性等	<p>昨年度で制度適用期間を終えた事業については、「現在の状況」 今年度が制度適用期間最終年度の事業については、「来年度以降の方向性」をご記入ください。</p> <p>本年度実施するモニタリングから得た情報を分析・集約し、適正価格の設定や機能面の充実を図りながら、津久井産材製キエーロの利用促進を進めていきたい。予算の関係上、検討段階ではあるが、引き続きモニタリングを実施し精度を高めていきたい。</p>				
3年間の総事業費と年度ごと内訳	4,361,000	円	平成29年度 1,601,000円	平成30年度 1,380,000円	平成31年度 1,380,000円
上記のうち市負担金	3,150,000	円	平成29年度 1,050,000円	平成30年度 1,050,000円	平成31年度 1,050,000円



事業の名称	津久井産材製キエーロ（木製の生ごみ処理器）の開発・普及モデル事業
-------	----------------------------------

次のA～Dの19項目及びE～Iの5項目について、ご記入ください。

A：協働の基本原則・・・		はい			いいえ
協働の基本原則に基づいて行動することができましたか？ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))					
1	相互理解の原則：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	目的共有の原則：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	役割合意と協力の原則：互いの役割分担について理解し、対等な協力関係で効果的に事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	自立の原則：互いに依存することなく、お互いの役割を自覚して事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	透明性の確保の原則：取組の状況をホームページやニュースレター等で広く市民に対して発信することができたか。	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
	津久井産材製キエーロの普及のために目的を共有し、役割分担することができた。	A			
B：取組に当たっての関係性のふりかえり・・・		はい			いいえ
お互いの関係性についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))					
6	定期的あるいは必要に応じて、コミュニケーションを図る機会を設けることができましたか。(報告・連絡・相談の機会)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	事業の取組に当たって、前向きに意見を述べ合うことができましたか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	負担感を持つことなく、協働することができたか。	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	協働して取り組んだことによって、信頼関係を深めることができましたか。	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
	適宜打合せやメールによる課題共有を行い、円滑な取組を行うことができた。	A			
C：事業のふりかえり・・・事業の妥当性や成果についてお尋ねします！		はい			いいえ
(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))					
10	取り組んだ事業は、市民ニーズや社会的要請にマッチしたものだと思いませんか。(事業の必要性)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	設定した目標(目的)を達成することができたか。(目標達成度)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	事業に要した経費は適切なものだと思いませんか。(費用対効果)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	取り組んだ事業は、市民から一定の評価が得られたと思いませんか。(市民満足度)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	さらなる発展が期待できる事業だと思いませんか。(将来性・発展性)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
	津久井産材製キエーロの普及のためには、付加価値を付し、商品の魅力を更に高めることが重要と考える。	B			

D : 協働のふりかえり・・・協働することの必要性や効果についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
15	課題解決に当たり、協働して取り組むことがふさわしい事業だったと思いますか。 (協働の必要性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
16	事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものだったと思いますか。 (役割分担の妥当性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働したことによって、相乗効果を上げることができたと思いますか。 (相乗効果)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	協働したことによって、地域社会にインパクトを与えることができたと思いますか。 (他団体や地域社会など外部への波及効果)	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
19	他団体との新たな連携、新たな担い手(人材)の創出など、市民力や自治力の向上につなげることができたと思いますか。 (市民力・自治力の向上)	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
	津久井産材製キエー口の普及拡大のために、市が情報提供を行うことで、信頼性が増し、より多くの方々へ周知を図ることができ、協働事業の成果がより高まったと考える。	A			
E : 20 協働のポイント - 1 こんなところが良かった!と思ったことをお書きください。					
実施団体記載欄			事業担当課記載欄		
・津久井産材製キエー口を市民へ普及するために市と当会による様々な広報媒体を利用し、広くPRすることが出来た。 ・分析やアンケート内容の検討など互いに情報や意見を出し実施することで成果を上げることが出来た。			津久井産材を活用することで、効果的な商品のPRを行うことが可能となり、協働による相乗効果で更なる普及促進に繋がったと考える。		
F : 21 協働のポイント - 2 ここは改善したい!と思ったことをお書きください。					
実施団体記載欄			事業担当課記載欄		
・適正価格の設定や機能面の改善などに対して、更なる意見交換をする必要があった。			耐久性や処理能力といった機能面を改善し、利用の拡大につながる製品となることを期待する。		
G : 22 協働のポイント - 3 これから協働にチャレンジしようとする人へのメッセージ!					
実施団体記載欄			事業担当課記載欄		
・協働で事業を行うことで広く市民へPRできるなど効率的に事業を進めることが出来る。			市民と行政がそれぞれの特性を発揮するため、お互いに意見を交わす機会を積極的に設けるべきだと考える。		
H : 23 その他(それぞれに期待すること、自由意見)					
実施団体記載欄			事業担当課記載欄		
・3年間の協働事業をきっかけに今後も行政との関係を密にし、情報共有や助言を頂き、市民の環境保全やごみの減量化に対する意識喚起を促すよう目指していきたい。			消費者ニーズの把握や改良を進め、津久井産材製キエー口の更なる普及に努めていただきたいと考える。		

I : 24 取組の様子(写真とコメント)  
い!

写真はできるだけ入れるようにしてください

写真添付欄



コメント記載欄

モニター宅でキエー口の設置を行いました。  
(2017年6月)

写真添付欄



コメント記載欄

相模原市市民協働推進課と津久井地域経済課、津久井商工会の職員で、実際にキエー口を使用しているモニターへ使用状況について聞き取りを行いました。  
(2017年10月10日)

写真添付欄

写 真

コメント記載欄

写真添付欄

写 真

コメント記載欄

## 協働事業提案制度事業のふりかえりシート

事業の名称	森林活用モデル検討事業								
団体の名称	特定非営利活動法人 自遊クラブ								
事業担当課	津久井地域経済課								
事業の概要	「さがみはら森林ビジョン」掲載の「市民の森」の実現に向けて、市民の森の周知・利活用に関する条件の整備を進め、又、市民の参画を目指す。								
具体的な取組みの状況	<p>(1) 企業CSRの啓発 平成29年度までに実施した環境分野における社会貢献に対する意識についてのアンケート調査結果から、「企業の森」「森林ボランティア」「市民の森」に参加意向を持つ企業13社に対して、訪問ヒアリング調査を実施し、それぞれの参加条件や「市民の森」を活用するための条件を調査した。</p> <p>(2) 森林活用プログラム NPO・森林ボランティア・教育機関等に対して、平成29年度のアンケート調査で（仮称）相模原市市民の森で活動の展開ができる、又は条件によってできると回答した団体と関連団体に対し、ヒアリングを行うとともに協働で活動した。</p> <p>(3) 森林活用プログラムの試行 平成29年度に発足した（仮称）相模原市市民の森クラブのイベントを企画立案し、森林活用プログラムとして試行した。イベントを実施するための広場の整備、コースの調査や整備を行った。又、企業向けのイベントを企画し開催した。</p> <p>(4) 森林ビジョンの普及啓発 市等が主催のイベントに参加し「さがみはら森林ビジョン」「市民の森」や森林ボランティアをPRして森林活用に関心を持ってもらった。</p>								
役割分担	<p>実施団体の主な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の立案・実施・管理と労務費用の負担</li> <li>・市民の森クラブ会議の運営（議長）</li> <li>・市民の森クラブ主催イベントの企画と実施</li> <li>・市民の森のイベントのための森林整備</li> <li>・市民イベントに参加して森林啓発と森林ビジョン・市民の森のPR</li> </ul> <p>市の主な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画を実施するための補助活動と機材費用等の負担</li> <li>・市民の森クラブ会議場の提供と資料印刷</li> <li>・市民の森クラブ主催イベントの広報掲載、チラシ配架、長机・椅子提供、看板製作、配車等</li> <li>・市民の森のイベントのための地主調査、神奈川県との水源協定林に係る調整等</li> </ul>								
事業効果	<p>市民ニーズに対応できた点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に（仮称）相模原市市民の森の認知が進み、イベントを通して具体的な活用事例が出てきた。</li> <li>・団体にも認知が進み、一部団体とは共同でイベントを実施した。</li> <li>・企業にも認知が進み、その活用意向が分かってきた。</li> </ul> <p>行政の効率化につながった点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体が森林体験プログラムの企画・運営など事業化に向けた具体的な活動を担い、多面的な事業活動により「さがみはら森林ビジョン実施計画」及び「（仮称）相模原市市民の森基本計画」の多くの計画項目が進んだ。</li> </ul>								
事業終了後の方向性等	<p>昨年度で制度適用期間を終えた事業については、「現在の状況」 今年度が制度適用期間最終年度の事業については、「来年度以降の方向性」をご記入ください。</p> <p>来年度以降の方向性 この3年間の協働事業は、「（仮称）相模原市市民の森基本計画」のソフト先行の活動に当り、プラットフォームの基礎作り期間となっている。この活動結果を基に、事業運営体制・運営方法等について検討・整理し、ハードを含めた環境整備を進める。</p>								
3年間の総事業費と年度ごと内訳	8,926,500	円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,222,000円</td> <td>3,245,500円</td> <td>2,459,000円</td> </tr> </tbody> </table>	平成29年度	平成30年度	平成31年度	3,222,000円	3,245,500円	2,459,000円
平成29年度	平成30年度	平成31年度							
3,222,000円	3,245,500円	2,459,000円							
上記のうち市負担金	4,400,000	円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,590,000円</td> <td>1,535,000円</td> <td>1,275,000円</td> </tr> </tbody> </table>	平成29年度	平成30年度	平成31年度	1,590,000円	1,535,000円	1,275,000円
平成29年度	平成30年度	平成31年度							
1,590,000円	1,535,000円	1,275,000円							

事業の名称	森林活用モデル検討事業
-------	-------------

次のA～Dの19項目及びE～Iの5項目について、ご記入ください。

<b>A：協働の基本原則・・・</b> 協働の基本原則に基づいて行動することができましたか？ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
1	相互理解の原則：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
2	目的共有の原則：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
3	役割合意と協力の原則：互いの役割分担について理解し、対等な協力関係で効果的に事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
4	自立の原則：互いに依存することなく、お互いの役割を自覚して事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
5	透明性の確保の原則：取組の状況をホームページやニュースレター等で広く市民に対して発信することができたか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。) 会報やイベントチラシの公民館等公共施設への配架、広報への掲載、土地所有者調査等、実施団体単独では困難な依頼を実施してもらった。会報を発行し、イベント等で配布し、自遊クラブの活動をPRした。また、活動状況をホームページやフェイスブックに継続して発信した。	自己評価			A
<b>B：取組に当たっての関係性のふりかえり・・・</b> お互いの関係性についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
6	定期的あるいは必要に応じて、コミュニケーションを図る機会を設けることができましたか。(報告・連絡・相談の機会)	a	b	c	d
7	事業の取組に当たって、前向きに意見を述べ合うことができましたか。	a	b	c	d
8	負担感を持つことなく、協働することができたか。	a	b	c	d
9	協働して取り組んだことによって、信頼関係を深めることができましたか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。) 定期的に定例会を実施し、事業経過の確認、今後の計画の検討を行い、コミュニケーションを図った。	自己評価			A
<b>C：事業のふりかえり・・・事業の妥当性や成果についてお尋ねします！</b> (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
10	取り組んだ事業は、市民ニーズや社会的要請にマッチしたものだと思えますか。(事業の必要性)	a	b	c	d
11	設定した目標(目的)を達成することができたか。(目標達成度)	a	b	c	d
12	事業に要した経費は適切なものだと思えますか。(費用対効果)	a	b	c	d
13	取り組んだ事業は、市民から一定の評価が得られたか。(市民満足度)	a	b	c	d
14	さらなる発展が期待できる事業だと思えますか。(将来性・発展性)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。) 「さがみはら森林ビジョン」の基本方針「市民と森林の接点づくり」の主な取組として「市民の森」の整備があり、関連団体等と市民の森クラブを設立するほか、「市民の森」活用モデルを多様な主体との協働により、検討・実施する事ができた。	自己評価			A

D : 協働のふりかえり・・・協働することの必要性や効果についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
15	課題解決に当たり、協働して取り組むことがふさわしい事業だったと思いますか。 (協働の必要性)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16	事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものだったと思いますか。 (役割分担の妥当性)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	協働したことによって、相乗効果を上げることができたと思いますか。 (相乗効果)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	協働したことによって、地域社会にインパクトを与えることができたと思いますか。 (他団体や地域社会など外部への波及効果)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19	他団体との新たな連携、新たな担い手(人材)の創出など、市民力や自治力の向上につなげることができたと思いますか。 (市民力・自治力の向上)	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
	「さがみはら森林ビジョン」を実現するためには、市、市民、NPO・森林ボランティア、教育機関、企業、森林組合等の森林関係者が、それぞれの立場に応じて連携して、協力していくことが大切です。今回の協働事業を進める過程で「市民の森」の活用モデルを検討する市民の森クラブの設立(H29)等、ソフト面での基礎ができてきた。	A			
E : 20 協働のポイント - 1 こんなところが良かった!と思ったことをお書きください。					
実施団体記載欄		事業担当課記載欄			
市と協働することで、市民・団体・企業の信頼度が高まり、活動が円滑に進む場面が多かった。		民有地を活用したイベント広場を使用し、団体の特性を活かした幅広い活動プログラムを実施することが出来た。			
F : 21 協働のポイント - 2 ここは改善したい!と思ったことをお書きください。					
実施団体記載欄		事業担当課記載欄			
会議とその資料作成等が予想以上に多く、高齢化した団体の能力では対応が難しい場面があり、3年目は事業計画を縮小した。		多くの団体等と協力し、中心的な役割を果たすことで、事業がより円滑に進み、イベントプログラムの幅が広がる等、内容の充実に繋がる活動が可能となる。			
G : 22 協働のポイント - 3 これから協働にチャレンジしようとする人へのメッセージ!					
実施団体記載欄		事業担当課記載欄			
協働することにより、団体の活動がステップアップして、市民からも信頼されるようになります。		行政と団体が密にコミュニケーションを図り、共通認識のもと事業を進めていくことで、より良い成果が得られると考えます。			
H : 23 その他(それぞれに期待すること、自由意見)					
実施団体記載欄		事業担当課記載欄			
3年間の事業結果を生かして、(仮称)相模原市市民の森の実現をしっかりとやってほしい。		協働事業提案制度事業終了後も(仮称)相模原市市民の森の整備や活動に積極的に協力いただくことを期待します。			

I : 24 取組の様子(写真とコメント)  
いい!

写真はできるだけ入れるようにしてください

写真添付欄



コメント記載欄

平成30年度最後の活動日の午前中は企業のCSR担当部門を対象とした体験イベントを開催しました。顕鏡寺を出発し、融合平まで往復し、途中の「企業の森」の構想地を案内しました。(平成31年3月27日)

写真添付欄



コメント記載欄

「石老山の森をたのしもう!」を開催しました。石老山・東海自然歩道を中心に2コース(木工と温泉と森めぐり、森と蕎麦と寺めぐり)に分れて開催しました。自遊クラブは木工と温泉と森めぐりを企画・運営しました。木工と温泉と森めぐりコースはさがみ湖リゾートプレジャーフォレストを10時過ぎに出発し、顕鏡寺を経由して、石老山の融合平見晴台までガイド付きで登山しました。融合平で昼食を取り、桜山展望台を経由して顕鏡寺に戻り、大神田宅前の広場で木工体験をしました。最後は「さがみ湖温泉うり」で入浴し、解散しました。(平成30年11月25日)

写真添付欄



コメント記載欄

30日のイベントのAコース(森林体験クラフトコース)の会場となる関山林道奥と東海自然歩道の整備をおこないました。特に、森の観察ルートは子ども達が安全に通行できるように下草刈りと倒木の片づけを行いました。(平成30年9月23日)

写真添付欄



コメント記載欄

相模原市恒例の桜まつりに参加し「市民の森」のPRを行いました。自遊クラブは市役所の第2駐車場2Fにブース出展しました。今回は小枝鉛筆、ピクピク人形、みんなの森、丸太切りを行いました。(平成30年4月7日)



## 協働事業提案制度事業のふりかえりシート

事業の名称	落書き防止活動事業			
団体の名称	相模原塗装協同組合 特定非営利活動法人 きこり			
事業担当課	交通・地域安全課			
事業の概要	<p>現在放置されている落書きを消去して、きれいにする事で落書き行為を抑制する。          消去作業の大変さを体験・見学することで、安易な発想で行われる落書き行為を防止する。          落書き行為が発生しやすい場所などに、あらかじめ絵画等を描き、落書きを防止する。</p>			
具体的な取組みの状況	<p>(1) 落書き消去キャンペーンの実施          28年度 橋本駅南口周辺にて6月に実施、2時間で約40箇所の落書きを消去          42名参加(自治会、商店街、関係事業者を含む)          29年度 相模大野駅北口周辺にて7月に実施、2時間で約60箇所の落書きを消去          37名参加(商店会、自治会連合会、関係事業者を含む)          30年度 相模原駅南口周辺にて6月に実施、2時間で約50箇所の落書きを消去          42名参加(自治会、商店街、関係事業者を含む)</p> <p>(2) 壁面絵画の設置          28年度 「やすらぎの道立体」(緑区)にて3月に実施          原画は多摩美術大学の学生が制作          29年度 「鶴の台立体」(南区)にて3月に実施          原画は市立鶴の台小学校の児童が制作し、NPO法人きこりの事業所を利用する方も協力          30年度 「淵野辺立体」(中央区)にて3月に実施          原画はNPO法人きこり等の事業所(計5事業所)を利用する方が制作</p>			
役割分担	<p>実施団体の主な役割          事業の企画及び実施 実施場所の選定 参加者の募集 実施場所の利用 スケジュールの進行管理 事業に必要な経費の負担 事業費の執行及び会計処理 事業の記録</p> <p>市の主な役割          事業の企画及び実施に当たっての助言及び協力 実施場所の選定に当たっての情報提供 参加者の募集に当たっての支援 実施場所の管理者等との調整 スケジュールの進行管理 事業に必要な経費の負担 事業費の執行及び会計処理についての助言 事業の記録にあたっての支援</p>			
事業効果	<p>市民ニーズに対応できた点          駅前周辺の落書きを一斉に消去することにより、放置されていた落書きが減少し、環境が大きく改善した点。</p> <p>行政の効率化につながった点          キャンペーンに参加し実際に作業したり、キャンペーンを見学したりすることにより、落書きの消去の大変さや落書き行為の迷惑性を実感することで、市民の落書き防止に対する意識の向上に繋がった点。          上記を踏まえ、参加者に消去方法を知ってもらうことで、今後、管理者の自発的な消去や地域の団体での消去活動が増えていくことが期待される点。</p>			
事業終了後の方向性等	<p>昨年度で制度適用期間を終えた事業については、「現在の状況」          今年度が制度適用期間最終年度の事業については、「来年度以降の方向性」をご記入ください。          現在各区役所で実施している消去用具貸出事業を活用し、相模原塗装協同組合及びNPO法人きこりが協力し、駅前周辺の落書き消去キャンペーンを実施する(秋頃を予定)。市は引き続き、実施場所の選定、参加者の募集、所有者の確認等の支援を行う。</p>			
3年間の総事業費と年度ごと内訳	2,187,539 円	平成28年度 744,810 円	平成29年度 720,673 円	平成30年度 722,056 円
上記のうち市負担金	1,905,303 円	平成28年度 654,300 円	平成29年度 625,029 円	平成30年度 625,974 円

事業の名称	落書き防止活動事業
-------	-----------

次のA～Dの19項目及びE～Iの5項目について、ご記入ください。

<b>A：協働の基本原則・・・</b> 協働の基本原則に基づいて行動することができましたか？ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
1	相互理解の原則：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
2	目的共有の原則：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
3	役割合意と協力の原則：互いの役割分担について理解し、対等な協力関係で効果的に事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
4	自立の原則：互いに依存することなく、お互いの役割を自覚して事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
5	透明性の確保の原則：取組の状況をホームページやニュースレター等で広く市民に対して発信することができたか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
		A			
<b>B：取組に当たっての関係性のふりかえり・・・</b> お互いの関係性についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
6	定期的あるいは必要に応じて、コミュニケーションを図る機会を設けることができましたか。(報告・連絡・相談の機会)	a	b	c	d
7	事業の取組に当たって、前向きに意見を述べ合うことができましたか。	a	b	c	d
8	負担感を持つことなく、協働することができたか。	a	b	c	d
9	協働して取り組んだことによって、信頼関係を深めることができましたか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
		A			
<b>C：事業のふりかえり・・・事業の妥当性や成果についてお尋ねします！</b> (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
10	取り組んだ事業は、市民ニーズや社会的要請にマッチしたものだと思えますか。(事業の必要性)	a	b	c	d
11	設定した目標(目的)を達成することができたか。(目標達成度)	a	b	c	d
12	事業に要した経費は適切なものだと思えますか。(費用対効果)	a	b	c	d
13	取り組んだ事業は、市民から一定の評価が得られたか。(市民満足度)	a	b	c	d
14	さらなる発展が期待できる事業だと思えますか。(将来性・発展性)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
		A			

D : 協働のふりかえり・・・協働することの必要性や効果についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
15	課題解決に当たり、協働して取り組むことがふさわしい事業だったと思いますか。(協働の必要性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
16	事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものだったと思いますか。(役割分担の妥当性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働したことによって、相乗効果を上げることができたと思いますか。(相乗効果)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	協働したことによって、地域社会にインパクトを与えることができたと思いますか。(他団体や地域社会など外部への波及効果)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
19	他団体との新たな連携、新たな担い手(人材)の創出など、市民力や自治力の向上につなげることができたと思いますか。(市民力・自治力の向上)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
		A			

E : 20 協働のポイント - 1 こんなところが良かった!と思ったことをお書きください。

<b>実施団体記載欄</b> 【組合】市から作業場所周辺の自治会へ連絡をして頂き、共に活動する事により市民に落書き消去の重要性を認識してもらえ、参加して頂いた方々は今後落書きをされても消去しようという意識を持ってもらえと思う。この行動が犯罪を未然に防ぐ活動につながると思う。 【きこり】幅広い団体や事業所の協力を得て事業に参加できたこと。	<b>事業担当課記載欄</b> 塗装協同組合の専門性を活用し、個々の落書きに応じた消去溶剤の選定や上塗り用の塗料の調色などの事前の準備がスムーズにできたこと。 NPO法人きこりが落書き消去や壁面絵画制作に携わることで、通所者の地域貢献や達成感に繋がったこと。
---	---

F : 21 協働のポイント - 2 ここは改善したい!と思ったことをお書きください。

<b>実施団体記載欄</b> 【組合】落書きが個人所有物にされていることが多くあり、消去出来ない場合がある。落書きが残るとその周辺から増えていく傾向があるので、出来るなら消去させてほしい。 【きこり】3団体で協働事業を行ったことに加え、新たに事業所に参加を依頼したことで連絡が遅くなったり、日程等の決定が急になってしまったこと。	<b>事業担当課記載欄</b> 落書き消去や壁面絵画設置にあたり、所有者や管理者に許可を得るための手続きに手間取ることがあった。
--	---

G : 22 協働のポイント - 3 これから協働にチャレンジしようとする人へのメッセージ!

<b>実施団体記載欄</b> 【組合】市と共に活動する事により、個の団体では難しかった行政との調整や他団体との協働が実現し、より大きな活動が出来ると思う。 【きこり】多くの団体と交流を持ち、事業所として地域にどう参加していけるか、考える良い機会になった。	<b>事業担当課記載欄</b> 実施団体の特性を活かして役割分担を適切に行うことで、事業がスムーズに進められると思う。
---	--

H : 23 その他(それぞれに期待すること、自由意見)

<b>実施団体記載欄</b> 【組合】この機会に組合では、落書き消去キャンペーンを継続事業とし、落書きは新たな犯罪が発生する可能性がある事を周知していきたい。この活動に市としても理解して頂き、引き続き自治会との調整や消去についてのPR活動等ご協力お願いしたいと思う。 【きこり】参加団体の皆様のご協力で、事業所としては地域貢献に繋がるとも貴重で素晴らしい機会であったと感じた。このような機会をいただけた際には、今後とも積極的に参加していきたい。	<b>事業担当課記載欄</b> 3年間で得られた実績や関係性をもとに、今後も実施団体で協働して落書き消去キャンペーンを継続していきたい。
--	---

写真添付欄



コメント記載欄

相模原駅南口落書き消去キャンペーンの様子  
(H30)

この地区では電柱や配電設備への落書きが多く、作業時間の多くを占めました。なお、消去にあたっては、所有者の電力会社に許可を得ています。

写真添付欄



コメント記載欄

相模原駅南口落書き消去キャンペーンの様子  
(H30)

消去溶剤は落書き消去だけでなくシール剥がしにも対応するので、スプレー後にヘラを使って落としました。

写真添付欄



コメント記載欄

淵野辺立体壁面絵画設置の様子(H30)

柱に1枚ずつ、計8枚を設置しましたが、最後の1枚を設置している様子です。  
原画の制作は、ウディーショップきこり(NPO法人きこりが運営)をはじめ、障害のある方を支援する事業所を利用する方に依頼しました。

写真添付欄



コメント記載欄

淵野辺立体壁面絵画設置の様子(H30)

中心に写っている2名の障害のある方がモデルになり、自らも描いた絵画の前で記念撮影しました。



## 協働事業提案制度事業のふりかえりシート

事業の名称	自動車ドライバーを含む自転車利用者向け交通安全講習会事業			
団体の名称	株式会社セルクル			
事業担当課	交通・地域安全課			
事業の概要	学校や自治会等で、自動車及び自転車に関する交通ルールの背景を理解するための安全講習会を行い、安全運転への意識を高め、事故防止につなげる。			
具体的な取組みの状況	<p>(1) 自転車安全講習会の開催</p> <p>29年度 年10回開催(4学校6団体 約2,000人受講)</p> <p>30年度 年12回開催(8学校4団体 約2,000人受講)</p> <p>31年度 9回開催(7学校2団体 約2,900人受講)</p> <p>平成31年度は6月時点</p> <p>(2) 交通安全フォロー活動実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全講習会に限定せず学校が実施している交通安全活動を年間を通じてバックアップし事故の再発防止を実現し事故件数を減らす</li> <li>30年度 3校</li> <li>31年度 5校</li> <li>実施内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 交通事故報告書のフォーム提案</li> <li>2 交通事故発生箇所の現場調査及び再発防止策の提案と共有フォロー</li> <li>3 交通安全街頭活動実施ポイントのフォロー</li> <li>4 交通安全委員との情報共有とバックアップ</li> <li>5 通学路調査によるリスクの少ない通学路及び自転車の走り方提案 等</li> </ul> </li> </ul>			
役割分担	<p>実施団体の主な役割</p> <p>○事業の企画及び実施 ○事業の紹介及び周知 ○事業スケジュールの進行管理 ○事業に必要な経費の負担 ○事業費の執行及び会計処理 ○事業の記録 ○事業報告書等の作成 ○事業の実施状況、課題等についての連絡調整 ○事業実施団体として必要な情報公開及び説明責任</p> <p>市の主な役割</p> <p>○事業の企画及び実施に当たっての助言及び協力 ○事業の紹介及び周知 ○事業スケジュールの進行管理 ○事業に必要な経費の負担 ○事業費の執行及び会計処理についての助言 ○事業の記録に当たっての支援 ○事業報告書等の確認 ○事業の実施状況、課題等についての連絡調整 ○市として必要な情報公開及び説明責任</p>			
事業効果	<p>市民ニーズに対応できた点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なぜそのようなルールとなっているのか、背景を周知することで受講者が理解しやすい講習会内容とした。</li> <li>安全講習会だけではなく、これを一つのツールとした、交通安全フォロー活動を年間を通じて実施することにより、各学校、団体の担当者がすべきことを明確にするとともに、バックアップすることで事故の減少を目指す仕組みを構築した。この結果、受講者のルール遵守率の向上や事故ゼロを継続している学校あり。</li> </ul> <p>行政の効率化につながった点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民に対する交通ルールの周知の次のステップとして、事故を起こさないための具体的な対策、対応を実際に起きた事故例を分析、再発防止策を提示することで、事故の減少を目指す、効率的なしくみを構築した。</li> <li>安全講習会だけではなく、これを一つのツールとした、交通安全フォロー活動を年間を通じて実施することにより、各学校、団体の担当者がすべきことを明確にするとともに、バックアップすることで事故の減少を目指す仕組みを構築した。</li> </ul>			
事業終了後の方向性等	<p>昨年度で制度適用期間を終えた事業については、「現在の状況」</p> <p>今年度が制度適用期間最終年度の事業については、「来年度以降の方向性」をご記入ください。</p> <p>安全・安心まちづくり推進協議会の委託により講習会の実施が出来るよう検討している。</p>			
3年間の総事業費と年度ごと内訳	2,911,815 円	平成29年度 767,295円	平成30年度 1,082,520円	平成31年度 1,062,000円
上記のうち市負担金	2,064,895 円	平成29年度 557,895円	平成30年度 673,000円	平成31年度 834,000円

事業の名称	自動車ドライバーを含む自転車利用者向け交通安全講習会事業
-------	------------------------------

次のA～Dの19項目及びE～Iの5項目について、ご記入ください。

<b>A：協働の基本原則・・・</b> 協働の基本原則に基づいて行動することができましたか？ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		<table border="1"> <tr> <td>はい</td> <td></td> <td></td> <td>いいえ</td> </tr> <tr> <td>はい</td> <td></td> <td></td> <td>いいえ</td> </tr> </table>	はい			いいえ	はい			いいえ
はい			いいえ							
はい			いいえ							
1	相互理解の原則：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
2	目的共有の原則：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
3	役割合意と協力の原則：互いの役割分担について理解し、対等な協力関係で効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
4	自立の原則：互いに依存することなく、お互いの役割を自覚して事業に取り組むことができたと思いますか。	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
5	透明性の確保の原則：取組の状況をホームページやニュースター等で広く市民に対して発信することができたと思いますか。	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価 <b>A</b>								
<b>B：取組に当たっての関係性のふりかえり・・・</b> お互いの関係性についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		<table border="1"> <tr> <td>はい</td> <td></td> <td></td> <td>いいえ</td> </tr> <tr> <td>はい</td> <td></td> <td></td> <td>いいえ</td> </tr> </table>	はい			いいえ	はい			いいえ
はい			いいえ							
はい			いいえ							
6	定期的あるいは必要に応じて、コミュニケーションを図る機会を設けることができたと思いますか。(報告・連絡・相談の機会)	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
7	事業の取組に当たって、前向きに意見を述べ合うことができたと思いますか。	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
8	負担感を持つことなく、協働することができたと思いますか。	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
9	協働して取り組んだことによって、信頼関係を深めることができたと思いますか。	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価 <b>A</b>								
<b>C：事業のふりかえり・・・事業の妥当性や成果についてお尋ねします！</b> (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		<table border="1"> <tr> <td>はい</td> <td></td> <td></td> <td>いいえ</td> </tr> <tr> <td>はい</td> <td></td> <td></td> <td>いいえ</td> </tr> </table>	はい			いいえ	はい			いいえ
はい			いいえ							
はい			いいえ							
10	取り組んだ事業は、市民ニーズや社会的要請にマッチしたものだだと思いますか。(事業の必要性)	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
11	設定した目標(目的)を達成することができたと思いますか。(目標達成度)	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
12	事業に要した経費は適切なものだだと思いますか。(費用対効果)	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
13	取り組んだ事業は、市民から一定の評価が得られたと思いますか。(市民満足度)	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
14	さらなる発展が期待できる事業だと思いますか。(将来性・発展性)	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価 <b>A</b>								

D：協働のふりかえり・・・協働することの必要性や効果についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
15	課題解決に当たり、協働して取り組むことがふさわしい事業だったと思いますか。 (協働の必要性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
16	事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものだったと思いますか。 (役割分担の妥当性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働したことによって、相乗効果を上げることができたと思いますか。 (相乗効果)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	協働したことによって、地域社会にインパクトを与えることができたと思いますか。 (他団体や地域社会など外部への波及効果)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
19	他団体との新たな連携、新たな担い手(人材)の創出など、市民力や自治力の向上につなげることができたと思いますか。(市民力・自治力の向上)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
		A			

**E：20 協働のポイント - 1** こんなところが良かった!と思ったことをお書きください。

実施団体記載欄	事業担当課記載欄
市と協働で実施している交通安全講習会の一つとして各団体に周知してもらうことで信頼され実施校、団体が広がった。	民間団体の協力を得て、事故の実態と原因を踏まえ、地域の具体的事例を取り入れた、より実践的な講習会を実施することができた。

**F：21 協働のポイント - 2** ここは改善したい!と思ったことをお書きください。

実施団体記載欄	事業担当課記載欄
自転車に関する交通事故件数の減少の実現のため、安全講習会の実施を目的とするのではなく、学校、団体の適切な交通安全活動のフォローを実施することをメインとすべきと考える。この実現のためのツールのひとつが安全講習会である。交通安全フォロー活動を次ステップの主な業務とし事故件数の減少をアウトプットして進めていきたい。	講習会実施前後の自転車に関する交通事故件数の推移の調査をするなど、効果測定を行いたい。

**G：22 協働のポイント - 3** これから協働にチャレンジしようとする人へのメッセージ!

実施団体記載欄	事業担当課記載欄
市の担当部署と課題・対策を共有しベクトルを合わせれば協働の効果が出ると考えます。そして市の仕組み、バックアップと皆さんのノウハウで課題の解決は可能と考えます。	実施団体の特性を生かして役割分担を適切に行うことで、事業がスムーズに進められると思う。

**H：23 その他(それぞれに期待すること、自由意見)**

実施団体記載欄	事業担当課記載欄



I : 2 4 取組の様子 (写真とコメント)  
い!

写真はできるだけ入れるようにしてください

写真添付欄



コメント記載欄

光明学園相模原高等学校で実施をした講習会の様子 (平成31年4月12日)

入学をして間もない高校1年生を対象に学区域内的の危険箇所や事故発生箇所を伝えるとともに、交通事故が発生した背景や安全な自転車の乗り方を理解してもらうよう講習会を実施しました。

写真添付欄



コメント記載欄

神奈川県立総合産業高等学校で実施をした講習会の様子 (平成31年1月24日)

高校1年生を対象に学区域内的の危険箇所や事故発生箇所を伝えるとともに、交通事故が発生した背景や安全な自転車の乗り方を理解してもらうよう講習会を実施しました。

写真添付欄



コメント記載欄

神奈川県立城山高等学校で実施をした講習会の様子 (平成30年5月7日)

入学をして間もない高校1年生を対象に学区域内的の危険箇所や事故発生箇所を伝えるとともに、交通事故が発生した背景や安全な自転車の乗り方を理解してもらうよう講習会を実施しました。

写真添付欄

写 真

コメント記載欄

## 協働事業提案制度事業のふりかえりシート

事業の名称	WEBを活用した野菜販売促進プロジェクト事業			
団体の名称	ビオ市/野菜市事務局			
事業担当課	農政課 藤野まちづくりセンター			
事業の概要	<p>農家と住民の協働及びネットワークの拡大並びに地域経済の活性化を目指す。</p> <p>WEBサイトを制作し、朝市や農家に関する広報活動を行う。</p> <p>耕作放棄地の活用等により、新規就農者の支援を行う。</p>			
具体的な取組みの状況	<p>ビオ市/野菜市の安定開催。</p> <p>2015年12月より、大雪と台風以外は休むことなく月2回の開催を維持できた。</p> <p>ホームページPV数はSNSあわせ月間2~3万PVを維持。ビオ市だけでなく、農家の紹介も主張ビオ市として、都内のマルシェに参加。10回。</p> <p>農商連携：地元スーパーまつばに地元産の野菜コーナーを設置。10農家の野菜が毎日買えるようになった。</p> <p>毎月20万円前後売れている。野菜棚の管理は消費者でもある近隣住民がボランティアで率先して管理をしてくれている。</p> <p>農福連携：生活介護事業所ふじのタンポポの利用者さんがビオ市の野菜を乾燥野菜にして販売。</p> <p>2019年2月より、クラウドファンディングで自己資金を集めて宅配事業を開始。</p> <p>(1) ビオ市/野菜市の開催 開催場所 農業生産法人藤野倶楽部</p> <p>29年度 隔週開催 = 年24回開催 (1回平均100人)</p> <p>30年度 隔週開催 = 年23回開催 (1回平均100人)</p> <p>31年度 隔月開催 = 年24回開催予定</p> <p>(2) クラウドファンディングの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主財源確保と定期宅配実現のために行った。</li> </ul> <p>募集期間 2018年10月~11月</p> <p>募集方法 CAMPFIREで募集</p> <p>結果概要 ・90名の方から総額725000円集まった。</p> <p>(3) PR映像の制作(平成31年3月 WEBサイトで公開)</p> <p>仕様 WEB媒体</p> <p>再生回数 youtube, facebook あわせて3000回</p> <p>配信方法 藤野観光協会 SNS (Facebook・Twitter・Instagram)、ホームページ</p> <p>(4) 宅配事業</p> <p>31年度 20世帯/月</p>			
役割分担	<p>実施団体の主な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの企画・運営(集客・会場設営) 相模原市外でのイベントの企画・運営(集客・会場設営)</li> <li>・ホームページ・映像制作 農家の販路開拓 耕作放棄地の活用</li> </ul> <p>市の主な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビオ市開催やWEB制作など協働事業継続のための支援</li> <li>・新規就農者への支援</li> <li>・販路拡大のための商談会の紹介</li> </ul>			
事業効果	<p>市民ニーズに対応できた点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者や新規移住者の交流の拠点を作ることができた。</li> <li>・農家だけでなく、ビオ市に関わるメンバーの創職活動の場になり、雇用が生まれ、移住のきっかけを創ることができた。</li> </ul> <p>行政の効率化につながった点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施によって農作物の生産及び販路を拡大して、農業の振興を図ることができた。</li> </ul>			
事業終了後の方向性等	<p>昨年度で制度適用期間を終えた事業については、「現在の状況」</p> <p>今年度が制度適用期間最終年度の事業については、「来年度以降の方向性」をご記入ください。</p> <p>終了後は販路拡大に向けキッチンカーなどを活用し、「移動型マルシェ」ビオ市/野菜市”として、都心での出店回数を増やしていきたい。</p>			
3年間の総事業費と年度ごと内訳	8,953,436 円	平成 29 年度 2,926,436 円	平成 30 年度 3,127,000 円	平成 31 年度 2,900,000 円
上記のうち市負担金	6,024,000 円	平成 29 年度 2,635,000 円	平成 30 年度 2,189,000 円	平成 31 年度 1,200,000 円

事業の名称	WEBを活用した野菜販売促進プロジェクト事業
-------	------------------------

次のA～Dの19項目及びE～Iの5項目について、ご記入ください。

<b>A：協働の基本原則・・・</b> 協働の基本原則に基づいて行動することができましたか？ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
1	相互理解の原則：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
2	目的共有の原則：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
3	役割合意と協力の原則：互いの役割分担について理解し、対等な協力関係で効果的に事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
4	自立の原則：互いに依存することなく、お互いの役割を自覚して事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
5	透明性の確保の原則：取組の状況をホームページやニュースレター等で広く市民に対して発信することができたか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
		A			
<b>B：取組に当たっての関係性のふりかえり・・・</b> お互いの関係性についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
6	定期的あるいは必要に応じて、コミュニケーションを図る機会を設けることができましたか。(報告・連絡・相談の機会)	a	b	c	d
7	事業の取組に当たって、前向きに意見を述べ合うことができましたか。	a	b	c	d
8	負担感を持つことなく、協働することができたか。	a	b	c	d
9	協働して取り組んだことによって、信頼関係を深めることができましたか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
		A			
<b>C：事業のふりかえり・・・事業の妥当性や成果についてお尋ねします！</b> (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
10	取り組んだ事業は、市民ニーズや社会的要請にマッチしたものだと思いませんか。(事業の必要性)	a	b	c	d
11	設定した目標(目的)を達成することができたか。(目標達成度)	a	b	c	d
12	事業に要した経費は適切なものだと思いませんか。(費用対効果)	a	b	c	d
13	取り組んだ事業は、市民から一定の評価が得られたか。(市民満足度)	a	b	c	d
14	さらなる発展が期待できる事業だと思いませんか。(将来性・発展性)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
		A			

D : 協働のふりかえり・・・協働することの必要性や効果についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
15	課題解決に当たり、協働して取り組むことがふさわしい事業だったと思いますか。(協働の必要性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
16	事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものだったと思いますか。(役割分担の妥当性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働したことによって、相乗効果を上げることができたと思いますか。(相乗効果)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	協働したことによって、地域社会にインパクトを与えることができたと思いますか。(他団体や地域社会など外部への波及効果)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
19	他団体との新たな連携、新たな担い手(人材)の創出など、市民力や自治力の向上につなげることができたと思いますか。(市民力・自治力の向上)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価  <b>A</b>			

E : 20 協働のポイント - 1 こんなところが良かった!と思ったことをお書きください。

実施団体記載欄	事業担当課記載欄
協働したことにより、当初の目標以上の結果がでせたと思う。お互いの長所を活かした。	毎年、事業の規模と種類が広がり、結果を残すことができた。

F : 21 協働のポイント - 2 ここは改善したい!と思ったことをお書きください。

実施団体記載欄	事業担当課記載欄

G : 22 協働のポイント - 3 これから協働にチャレンジしようとする人へのメッセージ!

実施団体記載欄	事業担当課記載欄
行政に頼るのではなく、地域を支えるための活動を行政とともにやる意識が重要です。血税を使う以上、結果をだせるよう努力しましょう。	協働により、活動を発展させる、自立につながる可能性がある事業です。

H : 23 その他(それぞれに期待すること、自由意見)

実施団体記載欄	事業担当課記載欄
	引き続き、農作物の生産及び販路拡大を通じて、地域の活性化に繋がることを期待します。



I : 24 取組の様子(写真とコメント)  
い!

写真はできるだけ入れるようにしてください

写真添付欄



コメント記載欄

オンライン宅配サービス「BIO BOX」の準備をしているところです。

写真添付欄



コメント記載欄

人手が足りてない農家さんの畑に援農しにいった時の写真です。

写真添付欄



コメント記載欄

都内のマルシェに出張バイオ市として参加した時の写真です。

写真添付欄



コメント記載欄

スーパーまつばの野菜棚の様子です。バイオ市の野菜が毎日買えるようになりました。野菜棚は近隣に住む主婦たちがボランティアで在庫の管理などを率先してやってくれるようになりました。

## 協働事業提案制度事業のふりかえりシート

事業の名称	「木もれびの森」案内看板及びマップ製作事業				
団体の名称	特定非営利活動法人 相模原こもれび				
事業担当課	水みどり環境課				
事業の概要	初めて「木もれびの森」を訪れる方が安心・安全に散策できるよう、案内看板や順路等案内板を設置し、紙ベースの「木もれびの森マップ」の作成、ホームページ上への掲載により容易に散策できる環境を整える。				
具体的な取組みの状況	<p>1 看板現地調査及び団体内での打合せ 延べ12回 52名 32時間  (1) 既に森に設置されている看板の実態調査による問題点の把握と改善。  (2) 看板に掲載する信号、バス停等の現況調査。</p> <p>2 看板デザイン及び記載内容にかかる打合せ  (1) 団体・市の2者打合せ 延べ12回 78名 30時間  (2) 大学・市の2者打合せ 延べ3回 13名 5時間  (3) 団体・大学・市の3者打合せ 延べ6回 53名 12時間</p> <p>3 看板設置作業  基礎ブロック及び支柱設置、看板取り付け 延べ4回 36名 24時間  他のボランティアを含めた団体・市と協力して実施。</p>				
役割分担	<p>実施団体の主な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看板デザインにかかる検討</li> <li>・看板設置箇所にかかる現地調査</li> <li>・看板設置作業</li> <li>・事業経費の負担</li> </ul> <p>市の主な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学、他の保全団体及び地域等</li> <li>・看板デザインにかかる検討</li> <li>・看板設置作業</li> <li>・事業経費の負担</li> </ul>				
事業効果	<p>市民ニーズに対応できた点  女子美術大学の学生により世代を問わないデザインを検討していただいたことで、森を散策している利用者から、分かりやすく親しみやすい明るい色みの案内看板であると評価を得ている。  また、団体のホームページにおいても本事業の経過を含めた様々な情報を適時発信したことによって、ホームページ閲覧者数及び団体新規加入者についても当初目標を大きく上回る成果が得られている。</p> <p>行政の効率化につながった点  木もれびの森の周辺にある公共施設やバス停等の公共交通機関を記載した看板を設置することで、利用者にとってもわかりやすい看板を作製することができた。  看板をきっかけに森に親しむ機会が生まれることによって、保全活動及び生物多様性等への理解が深まるきっかけとなる。</p>				
事業終了後の方向性等	<p>昨年度で制度適用期間を終えた事業については、「現在の状況」  今年度が制度適用期間最終年度の事業については、「来年度以降の方向性」をご記入ください。</p> <p>案内看板、パンフレット、順路等案内看板による相乗効果によって初めて訪れる人及び近隣住民の利用者についても木もれびの森をより一層楽しめるきっかけになると考えている。  また、パンフレットによって木もれびの森を知り、関心を持つ人が増えることによって木もれびの森の普及活動及びその保全活動の新たな担い手を増加することにつながると考えている。</p>				
3年間の総事業費と年度ごと内訳	2,520,000	円	平成30年度 1,451,000	平成31年度 1,069,000	平成 年度 円
上記のうち市負担金	2,278,000	円	平成30年度 1,312,000	平成31年度 966,000	平成 年度 円

事業の名称	「木もれびの森」案内看板及びマップ製作事業
-------	-----------------------

次のA～Dの19項目及びE～Iの5項目について、ご記入ください。

<b>A：協働の基本原則・・・</b> 協働の基本原則に基づいて行動することができましたか？ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
1	相互理解の原則：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
2	目的共有の原則：協働することの意義を明確にし、互いとその目的を共有して事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
3	役割合意と協力の原則：互いの役割分担について理解し、対等な協力関係で効果的に事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
4	自立の原則：互いに依存することなく、お互いの役割を自覚して事業に取り組むことができましたか。	a	b	c	d
5	透明性の確保の原則：取組の状況をホームページやニュースレター等で広く市民に対して発信することができたか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。) 団体、大学、市で意思疎通をできるように議論を重ねることで、お互いの立場を尊重しながら協議し、事業を遂行することができた。 大学生の技術を活かすことにより、視覚的にも楽しめる地図をデザインすることができた。	自己評価			
		A			
<b>B：取組に当たっての関係性のふりかえり・・・</b> お互いの関係性についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
6	定期的あるいは必要に応じて、コミュニケーションを図る機会を設けることができましたか。(報告・連絡・相談の機会)	a	b	c	d
7	事業の取組に当たって、前向きに意見を述べ合うことができましたか。	a	b	c	d
8	負担感を持つことなく、協働することができたか。	a	b	c	d
9	協働して取り組んだことによって、信頼関係を深めることができたか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。) 大学生は大学での授業及び課題、就職活動等により作業時間が限られていることから、月1回～2回の定期打合せにより団体と市で現地調査及び内容の検討を進めることで、大学生への負担が軽減されるよう取り組むことができた。 今年度の事業においても継続して対応に努めていきたい。	自己評価			
		A			
<b>C：事業のふりかえり・・・事業の妥当性や成果についてお尋ねします！</b> (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
10	取り組んだ事業は、市民ニーズや社会的要請にマッチしたものだと思えますか。(事業の必要性)	a	b	c	d
11	設定した目標(目的)を達成することができたか。(目標達成度)	a	b	c	d
12	事業に要した経費は適切なものだったか。(費用対効果)	a	b	c	d
13	取り組んだ事業は、市民から一定の評価が得られたか。(市民満足度)	a	b	c	d
14	さらなる発展が期待できる事業だと思えますか。(将来性・発展性)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。) 看板設置後、団体の保全活動時に利用者が看板の前に立ち止まって看板を見ている様子も見られ、良い評価を得ることができた。 また、現在地の記載及び番号を振ることで、迷わず利用できるとともに地域のオリエンテーリング等のイベントに活用することができるようにした。	自己評価			
		A			



D : 協働のふりかえり・・・協働することの必要性や効果についてお尋ねします！ (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
15	課題解決に当たり、協働して取り組むことがふさわしい事業だったと思いますか。 (協働の必要性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
16	事業の妥当性や協働の必要性を助案し、役割分担は適切なものだったと思いますか。 (役割分担の妥当性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働したことによって、相乗効果を上げることができたと思いますか。 (相乗効果)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	協働したことによって、地域社会にインパクトを与えることができたと思いますか。 (他団体や地域社会など外部への波及効果)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
19	他団体との新たな連携、新たな担い手(人材)の創出など、市民力や自治力の向上につなげることができたと思いますか。 (市民力・自治力の向上)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項をお書きください。)	自己評価			
	保全活動を目的とした団体であることから、財源及び看板デザインにおける技術的な支援をするため、協働が必要不可欠だと考えている。 また、団体、大学及び市の協働で事業を進めることにより、市民ニーズに近い看板を設置することができた。	A			

E : 20 協働のポイント - 1 こんなところが良かった!と思ったことをお書きください。

実施団体記載欄	事業担当課記載欄
財源、看板デザイン及び業者との折衝等の団体だけでは確実に遂行できない部分を市と協働することで実現できた。	日頃から森の保全活動に取り組む団体と検討できたことによって、より効果的な看板配置及び掲載情報を決定することができた。 また、大学生との協働でマップデザインに取り組むことができたことによって、利用者にとって見やすいマップを製作することができた。

F : 21 協働のポイント - 2 ここは改善したい!と思ったことをお書きください。

実施団体記載欄	事業担当課記載欄
大学とはマップデザインに関する技術及び知識の差があったため、意思疎通するために協議の重要性を実感した。 今年度の事業においては、密にコミュニケーションを図るよう努めたい。	デザインの編集にかかる大学生の作業量について編集ソフトの特性等への理解が団体及び市で不足していたため、予定していたスケジュール通り進めることができなかったことから、関係者内で予め作製スケジュールの共有に努めたい。

G : 22 協働のポイント - 3 これから協働にチャレンジしようとする人へのメッセージ!

実施団体記載欄	事業担当課記載欄
良いと信じたことは、規模の大小にかかわらず提案していくこと。	団体が持つ専門性及び市民目線を存分に活かし、行政だけでは完成することができない事業やサービスを創出していただきたい。

H : 23 その他(それぞれに期待すること、自由意見)

実施団体記載欄	事業担当課記載欄
高齢林となり、ますます衰退化が進行していく森の保全活動を継続していくためには、いかにして担い手を確保していくかが肝要であり、今回の事業はそのための有効な手段となるものと期待している。	団体及び大学の皆様のご尽力により、市民のニーズに応える素晴らしい案内看板が完成した。 今後、緑地保全の必要性を市民に発信するに当たり、今回の経験を活かしていきたい。

I : 24 取組の様子(写真とコメント)  
!!!

写真はできるだけ入れるようにしてください

写真添付欄



コメント記載欄

平成30年9月

・団体、大学、市による看板デザイン打合せ  
大学から提示されたデザイン案を元にわかりやすさを重視したデザインとなるよう検討を行った。

写真添付欄



コメント記載欄

平成31年3月9日

・業者による看板設置講習  
・基礎ブロック設置作業

写真添付欄



コメント記載欄

平成31年3月17日

・支柱設置作業

写真添付欄



コメント記載欄

平成31年3月27日

・看板16箇所設置完了

## 協働事業提案制度 公開事業報告会 アンケート

該当する に☑(チェック)を入れてください。

Q1. 公開事業報告会開催を何で知りましたか?(複数回答可)

- |                           |                |
|---------------------------|----------------|
| 1. 広報さがみはらを見て             | 2. ポスター・チラシを見て |
| 3. ホームページ等の電子媒体を見て        | 4. 提案団体からの案内   |
| 5. 市民フォーラムさがみはらのメンバーからの案内 |                |
| 6. 市職員からの案内               | 7. 知人・友人からの案内  |
| 8. その他(.....)             |                |

Q2. あなたの属性について、該当するところへチェックを入れてください。

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. 実施団体関係者    | 2. 市民フォーラムさがみはら関係者 |
| 3. 市職員        | 4. 一般              |
| 5. その他(.....) |                    |

Q3. ご覧になられた事業にチェックを入れてください。

No	事業の名称	チェック
1	共助による旧耐震基準の住宅所有者等に対する耐震化支援事業	
2	津久井葦尾根の里山を活用した若年無業者等と都市住民との交流事業	
3	津久井産材製キエーロ(木製の生ごみ処理器)の開発・普及モデル事業	
4	森林活用モデル検討事業	
5	落書き防止活動事業	
6	自動車ドライバーを含む自転車利用者向け交通安全講習会事業	
7	WEBを活用した野菜販売促進プロジェクト事業	
8	「木もれびの森」案内看板及びマップ製作事業	

Q4. 公開事業報告会は参考になりましたか。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 大変参考になった  | 2. まあまあ参考になった |
| 3. 参考にならなかった |               |

Q5. 関心を持った事業やテーマはありましたか。

- |         |                    |
|---------|--------------------|
| 1. なかった | 2. あった(提案No:.....) |
|---------|--------------------|

Q6. 今後、協働事業提案をしてみたいと思いますか。

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| 1. すでに具体的な提案を検討している | 2. 提案してみたいと思う |
| 3. 話ぐらいいは聞いてみたい     | 4. そこまでの関心はない |
| 5. その他(.....)       |               |

Q7. 市民協働についての関心は高まりましたか。

1. 以前よりも関心が高まった

2. 以前とあまり変わりはない

その他 ご意見・ご感想があれば自由にお書きください。

Blank area for writing comments or opinions, featuring horizontal dashed lines for writing.

~ 本日は、お忙しい中ご参加・ご協力をいただきありがとうございました。 ~